

ゴールデンウィークを終えて

～子どもたちのGW～



毎年4月の下旬から5月上旬の大型連休をゴールデンウィークと言って、世間は楽しいお休みの雰囲気になります。子どもたちからは、「勉強せんていいー」や、「朝ゆくつり寝られる」など喜びの音が聞かれます。TVではどここの観光地に何万人だとか、Uターンラッシュのピークで何km渋滞だとか、にぎやかな話題が多く出ていますが、先生方の目の前の子どもたちはいったいどんなGWを過ごしたのでしょうか？

様々な家庭の環境や経済状況の中、妹弟の世話をしてきた子、学校や公園で遊んだ子、家でゲームやスマホで遊んだ子など、メディアの取り上げるようなGWを送っていない子どもたちもいるのも現実です。中には「友だちがいる」「先生がいる」「給

食がある」などの理由で、学校が始まるのを楽しみに待っていた子どもたちはずです。

大人にとってちょっと憂鬱なGW明けの日常かもしれないですが、見方を少しかえてみると、憂鬱になっている暇はないかもしれません。『すべての子どもたちが、毎日楽しく学校に通えるように』今日もまたがんばりましょう！

市人研の研究課題や活動内容など詳しくはHPをご覧ください。

【市人研HP】

<http://www.jinken-fukuoka.com/>

【会員向けメルマガ】

reg@jinken-fukuoka.com

2016年度会員募集中です。多くの方の入会をお待ちしています。

すべての子どもたちが、毎日楽しく学校に通えるようにしよう！

市人研ニュース

No.02
2016
5.13

シリーズ 人・もの・こと

①水平社博物館

1922年3月3日京都の岡崎公会堂で全国水平社創立大会が行われました。全国水平社については、多くの先生方が教材研究等で勉強されていると思います。その全国水平社創立の中心になった青年たちが活躍した奈良県に、水平社博物館があります。

全国水平社創立までの人々の願いや動き、全国水平社の活動について、多くの資料やパネルで説明がされています。福岡から行くには遠くて簡単には行けない場所かもしれませんが、機会があれば是非行ってみてください。おすすめです。

ちなみに、今年度の市人研夏期研究集会（8月1日、2日）の講座では、水平社博物館館長 駒井忠之さんの講話を計画しています。駒井さんの話を聞く前、聞いた後に水平社博物館に行かれてみてはいかがでしょうか。

水平社博物館 〒639-2244 奈良県御所市柏原 235-2
（近鉄橿原神宮前駅より奈良交通路線バスで15分「群界橋停留所」下車）

